

# 平成24年度 九州歯科大学大学院歯学研究科概要

## 1. 目的および使命

歯学に関する学術の理論および応用を研究教授し、その深奥を窮めて広く人類の厚生福祉ならびに文化の進展に寄与することを目的とし、専攻分野につき研究を指導する能力を養うことを使命とする。

## 2. アドミッションポリシー

本学大学院歯学研究科では、その設置理念や目的に基づき、次のような人を広く求めます。

- (1) 歯学領域を中心とした生命科学の研究に強い興味を持ち、自ら研究に取り組んでいく意欲を持つ人
- (2) 高度な専門的知識と技術を身につけた臨床医あるいは教育・研究者として携わる意思を持つ人
- (3) 地域社会と連携した研究を推進しようとする人
- (4) 国際的な視野に立って世界をリードする研究を推進しようとする人
- (5) 社会人として勤務している傍ら歯学領域の研究に取り組む意欲と能力を持つ人

## 3. 修業年限

博士課程 4年

## 4. 専攻別学科目

学科目 (分野)	指導教授	主な研究内容
生体材料学	_____	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 歯科修復物の成形技術と精度および生体適合性の評価</li><li>・ 電解水の歯科への応用</li><li>・ 歯科用レーザーの基礎と応用</li><li>・ 歯科における有限要素解析の応用</li></ul>
頭頸部構造解析学	小林 繁	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 咀嚼器官の比較解剖学的研究</li><li>・ 歯の形質による日本人の起源の解明</li><li>・ 神経ペプチドの骨代謝に対する影響</li><li>・ 哺乳動物の味蕾における情報伝達</li></ul>
口腔組織機能解析学	豊島 邦昭	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 味蕾の発生物学的ならびに味覚受容機構の分子生物学</li><li>・ ニューロメッセンジャーとしての神経ステロイドの役割解明</li><li>・ 口腔感覚 (味覚、痛覚等) に関与するATP受容体の発現とATPの役割</li><li>・ 硬組織ならびに口腔粘膜の超微形態学と細胞生物学</li></ul>
生理学	稲永 清敏	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 渇きのメカニズム</li><li>・ 口腔機能と中枢神経系の連関</li><li>・ 口腔乾燥症の研究</li><li>・ 癌性疼痛の研究</li></ul>

学科目 (分野)	指導教授	主な研究内容
分子情報生化学	自見 英治郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨吸収および骨形成の分子機構の解明</li> <li>転写因子NF-<math>\kappa</math>Bの活性化機構とその機能の解明</li> <li>口腔癌の顎骨浸潤機構の解明</li> </ul>
口腔病態病理学	————	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科的治療後の創傷治癒の機序 (分子神経病理学的研究)</li> <li><math>\beta</math>-thymosinsの機能的解析</li> <li>口腔疾患の病理発生に関する分子病理学的解析</li> </ul>
感染分子生物学	西原 達次	<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔内細菌の全身に及ぼす影響について</li> <li>炎症性骨吸収の発現機構の解析</li> <li>アポトーシスの観点に立った口腔内病変の解析</li> <li>分子生物学的手法を用いた口腔組織再生のメカニズムの解析</li> </ul>
口腔応用薬理学	————	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規歯科用薬剤の生物学的安全性の評価</li> <li>歯科用薬剤によるアレルギー発症</li> <li>有機溶剤の中樞への影響</li> </ul>
総合診療学	寺下 正道	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療行動学をベースとした診療システム 患者行動と診療システムとの相似性</li> <li>医療コミュニケーション 患者理解度の分析</li> <li>歯学教育 教育効果向上のための心理テストの応用</li> </ul>
齲蝕歯髓疾患制御学	北村 知昭	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯・根尖歯周組織疾患の病態解明と再生療法に関する研究</li> <li>歯・根尖歯周組織疾患の診断・治療機器開発に関する研究</li> <li>高精度1歯単位治療 (修復・歯内・審美・機能回復) に関する研究</li> <li>難治性歯痛の治療法に関する研究</li> </ul>
歯周病制御再建学	————	<ul style="list-style-type: none"> <li>侵襲性歯周疾患のリスクファクターの解明</li> <li>再生療法およびインプラント周囲炎の治療法の開発</li> <li>外傷性咬合のバイオメカニズムの解明</li> <li>歯周治療、歯内治療時の心身医学</li> </ul>
顎口腔欠損再構築学	鱒見 進一	<ul style="list-style-type: none"> <li>閉塞型睡眠時無呼吸症候群の口腔内装置に有効な下顎位及び姿勢位の検討</li> <li>磁性アタッチメントの臨床的評価</li> <li>顎関節症患者のスプリント療法が脳機能に及ぼす影響</li> <li>習慣性咀嚼が顎運動に及ぼす影響</li> </ul>

学 科 目 ( 分 野 )	指 導 教 授	主 な 研 究 内 容
口腔再建 リハビリテーション学	細川 隆司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・即時機能インプラント治療に関する研究</li> <li>・口腔乾燥症と唾液腺の生理学的機能に関する研究</li> <li>・インプラント治療のリスクファクターに関する研究</li> <li>・パラファンクションの診断と治療に関する研究</li> <li>・口腔関連QOLの評価に関する研究</li> </ul>
保健医療 フロンティア科学	安細 敏弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔バイオフィルム形成に関与する口腔細菌の遺伝子群の解析</li> <li>・エンドペプチダーゼをターゲットにした口腔癌および歯周病治療薬の開発</li> <li>・高齢者を対象とした口腔と全身の健康ならびにサルコペニアとの関連に関する疫学研究</li> <li>・ドライマウス・舌痛症および口臭症と上部消化器疾患の関連に関する臨床研究</li> </ul>
総 合 内 科 学	高田 豊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者住民における口腔と全身の関係に関する疫学研究</li> <li>・歯科疾患と全身疾患の関係に関する臨床研究</li> </ul>
口 腔 機 能 発 達 学	牧 憲 司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長期の顎骨に関する研究</li> <li>・小児の咀嚼機能</li> <li>・軟骨や歯の石灰化に関する研究</li> <li>・歯列弓拡大に関する研究</li> </ul>
顎 口 腔 機 能 矯 正 学	山 口 和 憲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開咬の機能的特徴とその発症原因、および治療法</li> <li>・口呼吸の客観的評価と歯科との関わりについて</li> <li>・口呼吸と集中力との関連性</li> <li>・三叉神経節を介した骨代謝機構の解明</li> </ul>
画 像 診 断 学	森 本 泰 宏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MRIによる顎関節疾患の診断に関する研究</li> <li>・MR angiographyによる微細血管描出に関する研究</li> <li>・MR sialography の臨床評価に関する研究</li> <li>・放射線誘発間期死に関する分子生物学的研究</li> </ul>
病 態 制 御 学	富 永 和 宏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪性腫瘍に対する遺伝子導入療法の開発</li> <li>・顎関節炎に対する遺伝子導入療法並びにサイトカイン療法に関する研究</li> <li>・超音波を用いた悪性腫瘍浸潤範囲の新規診断法の開発</li> <li>・仮骨延長法の基礎的・臨床的研究</li> </ul>
形 態 機 能 再 建 学	高 橋 哲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顎関節の病態解明に関する分子生物学的、生化学的研究</li> <li>・新しい骨造成、顎骨延長法の開発に関する研究</li> <li>・口腔癌の治療法に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>・生体活性型有機・無機ハイブリッドの顎骨欠損への応用に関する研究</li> <li>・Microsurgeryを用いた口腔組織の再建に関する基礎的・臨床的研究</li> </ul>

